



議会だより

2017 よしか

第43号



謹んで初春の
お慶びを申し上げます

完成間近の谷尻橋（沢田地内）

- | | | | |
|------------------------|--------|-----------------|---------|
| ・議長あいさつ・第4回定例会・議案 | … 2頁 | ・議案の議決結果確認表 | … 6頁 |
| ・一般会計補正予算・全員協議会・第5回臨時会 | … 3頁 | ・一般質問・最近の主な議会動向 | … 7～11頁 |
| ・主な質疑・発議・陳情 | … 4～5頁 | ・委員会活動・編集後記 | … 12頁 |

新年のあいさつ

吉賀町議会議長

安永友行



明けましておめでとうございます。

皆様には、心新たに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

合併後11年を経過し、行財政改革も、町民の皆様をはじめ、行政職員の協力により、県下トップクラスの財政状況になり、子育て支援策をはじめとした積極的な政策を打ち出せるようになりました。しかし、人口減少は続いています。

若者が『帰りたい町』、『住みたい町』を目指す町づくりに終わりはありません。皆様のご理解とご協力を引き続きお願いします。

本年は町長と我々議員の改選の年です。平成の大合併以来、全国の町村数は三分の一になり、議員定数削減も加わり、議員数は、激減しました。一昨年行われた統一地方選挙において、4割の町村で議員選挙が行われ、内2割以上の89町村で無投票でした。この傾向は、その後も続いており、二元代表制の地方自治体の機能弱体化に繋がるものと憂慮しています。

町の政治は、住民がつくり、住民が進めるものです。願わくは、今秋の議員改選には、若い方、特に女性の方の町政参画を願うものです。

年頭にあたり、吉賀町に住んで良かったと誇ることのできる町づくりをと、心新たに思いご挨拶といたします。

平成28年度 第4回定例会

平成28年第4回定例会が12月9日から12月16日までの8日間開催され、議案19件、発議2件、陳情3件を審議しました。

◎新入学お祝い事業 ◎小学校教室エアコン設置 ◎大野原グラウンドゴルフ場改良工事 等予算化

議案

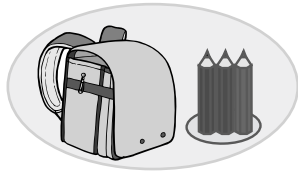
- 1) 字の区域の変更について
- 2) 吉賀町サクラマス交流センター施設条例の制定について 外2議案
- 3) 吉賀町水道事業の設置等に関する条例の制定について 外2議案
- 4) 吉賀町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
外3議案
- 5) 平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第7号) 外7議案

平成28年度 吉賀町一般会計補正予算（第7号）

補正額	265,342千円
補正後の平成28年度予算額	7,291,245千円

【主な歳入】 (単位:千円)

国庫支出金 (民生費国庫補助金)	32,212
国庫支出金 (教育費国庫補助金)	21,420
町債(過疎債)	42,400
町債(合併特例事業債)	56,200



【主な歳出】 (単位:千円)

その他財産維持管理費	13,000
定住対策事業費	25,000
企業誘致対策事業費	11,000
臨時福祉給付金事業費	32,212
施設型保育給付事業費	35,364
元町丸町線改良事業費	13,000
新入学お祝い事業費	915
小学校施設整備事業費	65,189
大野原運動交流広場 管理費	43,695

全員協議会

【平成28年度 第12回 (10月7日)】

- ◆臨時福祉給付金の誤支給について

【平成28年度 第13回 (11月4日)】

- ◆サクラマス交流センターの運営について

【平成28年度 第14回 (11月24日)】

- ◆吉賀町公共施設等総合管理計画について
- ◆旧領家旅館の賃貸借契約及び第三セクターへの貸付金について
- ◆鹿足郡養護老人ホーム組合が訴訟する損害賠償の訴えの提起に係る債権放棄について
- ◆第3次社会医療法人石州会六日市病院支援計画の変更について
- ◆簡易水道事業の公営企業法の適用について
- ◆六日市中学校の改修工事の変更について
- ◆吉賀町新入学お祝い事業について
- ◆大野原グラウンドゴルフ場の建設について

【平成28年度 第15回 (12月9日)】

- ◆吉賀町地域間交流拠点施設(旧柿木中学校校舎)の耐震診断結果について
 - ・倒壊する可能性が高いとの判定により、平成29年1月より使用を中止し、施設のあり方は、今後検討することの説明。
- ◆吉賀町サクラマス交流センター建築工事について
- ◆旧備中屋跡地における駐車場整備について

平成28年度 第5回臨時会

【平成28年11月4日】

【議案第74号】

- ◆動産購入契約の締結について
 - ・サクラマス交流センターの備品購入

【議案第75号】

- ◆平成28年度吉賀町介護保険事業特別補正予算(第3号)

【議案第76号】

- ◆平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第6号)
 - ・小学校のエアコン設置設計委託料

主 な 質 疑

吉賀町水道事業の設置等に関する条例の制定について

【水道料金の値上げは】

桜下議員

- ◆ 公営企業に移行するということで、町民の皆様のご関心は水道料金の値上げの問題と思われそうですが、例えば、赤字会計になると値上げをする等の基準はありますか。

【建設水道課長】

複式簿記により会計システムも変わり、明らかに運営等が厳しくなってきますが、今は水道料金の値上げは考えていません。値上げの必要があれば、議会にも諮ります。

【議会の同意を要する賠償責任の免除は】

三浦議員

- ◆ 条例の第5条水道事業の業務に従事する職員の賠償責任の免除についての内容と事例を聞きます。

【建設水道課長】

第5条は、支出の負担行為等に伴うミスなどで、事例として、徴収した料金の紛失や契約した段階でミスがあったなどがあります。

吉賀町サクラマス交流センター施設条例の制定について

【サクラマス交流センターの指定管理は】

中田議員

- ◆ 条例に、指定管理者に行わせることができると記載されていますが、平成29年度から行うということですか。

【総務課長】

いつからという予定はありませんが、当面は直営で管理し、指定管理を受けていただける業者さんがおられれば対応していくということで、条例上は指定管理もできるようにしています。

【事件事故発生時の体制は】

藤升議員

- ◆ 事件事故発生時の対応について、管理人等おられますが、どのような連絡体制を考えていますか。

【総務課長】

まずはハウスマスターに、そこから町へ、場合によっては保護者の方へ連絡を取ります。その時の事案によりケースバイケースによって対応していきます。

平成28年度吉賀町一般会計補正予算

【農業競争力強化基盤整備事業費について】

大多和議員

- ◆ 真田地区の基盤整備事業の計画がありますが、よしかみらいサッカー場周辺の施設を拡げてほしいとの陳情も出ています。今回事業計画に入っていますか。

【建設水道課長】

今現在、全体の流れといたしましては、まだ計画が出来ていない段階です。陳情等については総合的に検討します。

【旧領家旅館について】

庭田議員

- ◆ 改修工事は、耐震もあわせてやりますか。

また、貸付契約が12年というのは余りにも長すぎませんか。

【企画課長】

建築基準法に基づき、耐震工事も含まれています。また、貸付契約について過疎債等の場合は、大体12年償還というのが通例となっていますので、この期間を設定しています。

河村(由)議員

- ◆ 建築確認の許可がないうちに着工したという報道がありましたが、町としてどのように対応されますか。

【町長】

今回の工事は、サンエムの発注ですが町として指導責任がありますので、きちんとした指導をしていきます。

発 議 ・ 陳 情

【発議第6号】

- ・後期高齢者医療制度における保険料軽減特例の継続を求める意見書(案)

【理由】

高齢者の生活を守るため

○発議者 藤升正夫議員

本会議採決 可決

【発議第7号】

- ・地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書(案)

【理由】

国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保のため

○発議者 桑原三平議員

●反対討論 藤升正夫議員

- ・議員の条件を引き上げていくという点に対して十分な理解を得られるという確信に至らなかったため

本会議採決 可決



町道久保沖線の現地調査

【陳情第5号】

- ・吉賀町民真田グラウンド(よしかみらい)、吉賀町交流研修研修センター利便施設、機能充実に関する整備陳情書

○提出者 吉賀町サッカー連盟

会長 岩本明彦

総務常任委員会付託、審査

審査結果

採択

本会議

採択

【陳情第6号】

- ・立河内川、幸地川の堆積土砂撤去等リフレッシュ工事について

○提出者 立河内地区自治会長 岩本明彦

経済常任委員会付託、審査

審査結果

現地調査のうえ採択

本会議

採択

【陳情第7号】

- ・町道久保沖線の改良に関する陳情

○提出者 福川自治会長 三井利民

経済常任委員会付託、審査

審査結果

現地調査のうえ採択

本会議

採択

議案の議決結果

『議決結果確認表』

(議長は可否同数の場合を除き採決に加わらない)

【平成28年度 第4回定例会 全議員が賛成で可決した議案】

	議案番号	件名 (議案の内容)
平成28年度第4回定例会	議案第77号	字の区域の変更(抜月地区の圃場整備により一部変更)
	議案第78号	吉賀町サクラマス交流センター施設条例の制定 (サクラマス交流センターを29年4月から開所するための条例制定)
	議案第79号	吉賀町水道事業の設置等に関する条例の制定 (29年4月から町内の上水道を統合して、公営企業会計に移行するための条例)
	議案第80号	吉賀町水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定(議案第79号と同じ)
	議案第81号	吉賀町下水道使用料審議会条例の制定 (議案第79号により下水道関係を別途制定する必要が生じたため)
	議案第82号	吉賀町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正(法律の改正による)
	議案第83号	吉賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正(法律の改正による)
	議案第84号	吉賀町長等の給与に関する条例の一部改正(人勸に基づく改正)
	議案第85号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正(人勸に基づく改正)
	議案第86号	吉賀町税条例の一部改正(法律の改正による)
	議案第87号	吉賀町国民健康保険税条例の一部改正(法律の改正による)
	議案第88号	平成28年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第89号	平成28年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第90号	平成28年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
	議案第91号	平成28年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第92号	平成28年度吉賀町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第93号	平成28年度吉賀町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第94号	平成28年度吉賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第95号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第7号)
	陳情第6号	立河内川・幸地川の堆積土砂撤去等リフレッシュ工事について
陳情第7号	町道久保沖線の改良に関する陳情	
第5回臨時議会	議案第74号	動産購入契約の締結(サクラマス交流センター備品購入)
	議案第75号	平成28年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第76号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第6号)

【平成28年度 第4回定例会 賛成多数で可決された議案】

○:賛成 ●:反対 欠:欠席

議案番号	件名	桑原	大多和	三浦	桜下	中田	河村隆	藤升	河村由	庭田	潮	安永 (議長)
発議第6号	後期高齢者医療制度における保険料軽減特例の継続を求める意見書(案)	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	/
発議第7号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	/
陳情第5号	吉賀町民グラウンド(よしかみらい)、吉賀町交流研修センター利便施設・機能充実に関する整備陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/

※一般質問の内容は、本人の原稿をもとにしています。



河村由美子

彫刻の道整備について

【問】 この整備は、27年から36年までの10年間となっています。既に、8000万円位彫刻の発注と設置がされていますが、全体の事業計画はどのようになっていますか。

また、この投資や設置場所、展示物について、町民への周知、認知度等町の方へ意見が寄せられていますか。

〈町長〉 現時点では、展示物も少なく町民の皆様の関心は高くないと思っています。

澄川喜一記念公園として、徐々に整備を進め、積極的にアピールをするため、今年度は銘板・位置案内板等を設置します。関心を持ってもらえるよう既存の通路の一部を撤去して一体感を出し、年明け3月にはオープニングセレモニーを行うことにしています。

【問】 ふるさと応援基金を使つての整備とはいえ、2か町村が合併して広域になり、全町民に一

体感が生まれるように観光協会とも連携し、あくまで町民の資金を投資するわけですので、十分理解が得られるよう望みます。

次に、この町で生まれ育った町民は何に満足し、生きた証を残し、この町に歴史を刻んできたでしょうか。町長は、3期後半行政のトップとして誇りを持って一石を投じたといわれることは、何を持って示せますか。豊さを追える町だといえますか

〈町長〉 反響のある意見や問題を提起したというような一石を投じたということはありませんが、2度にわたる議会議決の否決と、1期目における補助金の削減や職員の給与カットは、とても誇りのある施策であったとは思ってはいません。

現在、当町は県下でもトップクラスの財政指数といえますが、地方自治体がその存立を維持し、活動するためには必要な財政力の裏づけがなければ何も出来ないこととなります。

トップとして豊かさの基準は簡単に決めることは出来ないと思います。



大多和安一

町民への接遇と臨時ナンバー交付に関して

【問】 「町職員の町民に対する接遇が悪いから、議会で言ってください。」との話を聞きました。最近では良くなっているものと思っていましたから、こんな質問をするのが残念です。

①態度が横柄。②町民に対する態度が、上から目線だ。③町民税の支払いに行っても、「ありがとう」の言葉もなく、ただ事務的に扱われている。④合併当時は、良かったが最近では悪い。という声があります。どのように考えられますか。

〈町長〉 私も窓口の対応には気をつけていますが、私の見ている間では、良くやっていると感じていますが、住民の皆様には不足かも知れません。

行政運営における主役は、町民の皆さまです。町役場は、町内最大のサービス産業と認識しています。職員の行動や言動で、町民に不快な思いをさせてはならないと思っています。

定期的実施している接遇研修において、啓発

をしながら、二度とこのような質問が無いように努力します。

【問】 町が発行する道路運送車両法に基づく「臨時運行許可番号標」は、保安基準に適合した車（車検に適合）に交付していると思います。最近、車検に通らないおそれのある車が、吉賀町の仮プレートをつけて走行していると聞きました。①仮登録の申請時に、どのような審査をされるのか。②違反した車や申請とは異なる車が、公道を走行し、事故を起こした場合の町の責任はどのようになりますか。

〈町長〉 申請時には、申請書・車検証等の車体番号がわかるもの及び有効な自賠責保険証を確認して、形式的な書類審査で交付しています。臨時運行許可は、申請に対する行政処分ですから、申請とは異なる車両や車検に通らない車が公道を走行して事故を起こしても、町に対する責任が問われるものではありません。

整備不良等の車が、公道を走行すれば、当然道路交通法の対象で、警察の所管となります。

齋場進入路の側溝ふたと白線 ― 新年度予算で設置



藤升 正夫

【問】 吉賀町齋場進入路は道路勾配、カーブとも急で、濡れた路面と側溝の境の見極めが難しい状態です。冬場はもっと厳しい環境の中で危険の度合いが高まります。運転者が安心して走行することができるよう、側溝にふたをかけ白線を引くことを求めます。

〈町長〉 側溝のふたの設置と白線のペイントについては、新年度当初予算の中で措置して早急に安心できる道路に改良していきたいと考えています。

【問】 吉賀町スポーツ公園の屋外トイレは、野球場とテニスコートに近接したところにそれぞれ設置しており、どちらも和式の洗浄機能のない落下式くみ取り便所です。急いで外部トイレ改修の具体化を求めます。

〈町長〉 利用者みなさんに気持ちよく利用していただけるような環境をつくる必要を感じて

います。新年度予算の中で改修の可能性について検討し、実現に努力したいと考えています。

【問】 国民健康保険制度は平成30年度から都道府県が財政運営を行い、市町村が実務を行う形へと変わります。広域化により町の一般会計から決算補填等を目的とした法定外繰入は可能となるのか聞きます。

〈町長〉 広域化後の一般会計からの法定外繰入は、制度としては可能であるけれど、国は法定外繰入金をなくす方向となっているので、これらも含めて、県全体で慎重に議論を重ねています。

広域一元化に伴う保険料のあり方は、当面、市町村間の医療費水準や所得水準を調整し、標準保険料率に基づき市町村が賦課徴収を行い、県に納付するという案が有力です。

法的拘束力はないと言いつつも拘束してくるのが国の考え方です。

介護予防にポイント制と益田岩国間への高速道路を



中田 元

【問】 平成12年に介護保険制度が導入され、1割負担の介護制度が開始されたが、最近では利用者の負担増など改悪されているように思われ介護予防に力を入れなければと思います。

13年より社協による「小地域ネットワーク」「ふれあいサロン」が、介護予防に大きく貢献しています。設立当初より無償の精神で行って来た方々に支えられています。現在町で実施している予防教室等に参加するとポイントが貯まり、旅行に行ける大変良い制度がありますが、町民には周知されていません。

集会所等での健康サロンやふれあいサロン等にボランティアで参加すれば3～4ポイント付加し、参加するだけでも1ポイント付加する制度とすれば、参加者の増加を促し、地域やサロンの活性化となり、介護予防にもつながります。

介護予防には、外出し顔を見て人と話したり何らかの活動に打ち込み、生きがいを持ち続ける事が効果的です。ポイント制は、全国で282の自治体

が導入しています。吉賀町でも導入したら如何ですか。

〈町長〉 ポイント制については、継続した参加が介護予防に不可欠との考えから事業に導入していますが、ボランティア本来の趣旨である無償の社会奉仕という考え方と、重度障がいを持つ方や障がい児の方々々が活動したくても参加できないとの事から慎重に考えます。

地域福祉のためには、ボランティアの確保は重要です。提案については各種の委員会で検討します。

【問】 益田～岩国間の高速道路建設に関しては、昨年9月に質問しましたが、その後建設に関しての活動状況などがあれば伺います。

〈町長〉 こういった大きな事業は、10年・20年といった長いスパンで考えていく事となります。

県での計画・要望等に盛り込むよう努力します。



庭田 英明

細やかな農業政策を

【問】 2018年から減反政策が廃止され、米価の下落や補助制度の打ち切りなど生産者には大きな影響が予想されます。米のブランド化事業が推進されていますが、栽培、流通、販売等をどのように統一して組織化するのですか。

〈町長〉 今あるものを行政として束ねていくのは、非常に困難な作業になりますが、既存の生産組織と連携して町全体の米ブランドの仕組みを作っていきます。

【問】 米作には多額の投資が必要です。しかし、更新時には国・県・町からの支援はありません。農業後継者が減少するなかで、農地を守る視点からも農業法人、担い手等には更新時の支援が必要ではないですか。

〈町長〉 どのような支援が必要なのか意見交換会などを通して把握し、検討していく必要がある

と考えています。

【問】 基幹産業である農業に多くの人に関わることは、人口の減少を防ぎ地域を守ることに繋がります。やくろやエポック等には多くの人収入に加え、生きがいや健康のために生産活動をされています。農業を多面的に捉えて政策に活かすべきだと考えます。

ハウス設置への支援やリース事業等により、小農を育成する考えはありませんか。

〈町長〉 農業は、農地を守るための大切な事業であると認識しています。要望や需要を把握して助成をしていかなければならないと考えています。

【問】 豊かな環境を活かして、本当に基幹産業といえる農林業に育てるために、農政を企画する専門の職員を配置すべきだと考えますが。

〈町長〉 財政的に厳しい中では難しいが第3セクター等への配置は必要と考えます。



桑原 三平

文化協会（仮称）の設立は

【問】 平成27年6月定例会において、前教育長の答弁の中に文化協会設立についての説明がありました。

現教育長はこの事について、どのように判断されているのか、また設立の状況について聞きます。

〈教育長〉 町の文化活動に関わる12名の方が、27年9月1日吉賀町文化事業実行委員会という組織を設立しました。

文化協会と同義語で、最初の事業は28年2月に吉賀町誕生10周年記念事業の一環として六日市体育館において、大瀬戸千嶋ハートフルコンサートを開催しています。

今年度は3月に落語会を柿木ふれあい会館において開催する予定です。

【問】 実行委員会が単なる集合体でなく、町内外へ発信出来る組織として発展させるための姿勢について聞きます。

〈教育長〉 現在は17名ですが、多数の構成員でもって文化協会的なものができればよいが、小さな積み重ねにより、文化に対する気持ちを醸成する活動をして頂きたいと思います。

【問】 七日市小学校新築工事第一期工事により、完成した教室棟の使用状況と維持管理について聞きます。

〈教育長〉 第一期工事の教室は全て特別教室として使用しています。

目的は理科室、図画工作室、通級指導教室、第二多目的室として使用しています。

この学校は林野庁の補助事業で建築しているので、毎年度の利用状況を報告することになっています。

地域と学校との触れ合いがあり、毎年1,200人も利用者がいることは七日市地区のサクラマス・プロジェクトが順調に展開していると思います。



桜下 善博

給食費の無償化は続けるのか

【問】 町長は、「子供は町の宝であり、地域の宝である」子育ては、最大限支援するという方針で、医療費、保育料、給食費の無償化を、県内はもちろん、全国にも先がけて実施しています。子育て世代の負担の軽減にもつながります。

町民から、続けて欲しいという声もありますが、一方で過保護とか、いたれりつくせりとか親に対しての感謝の気持ちが薄れるなど反対の声が多いのも事実です。議会でも少数ですが、反対の意見もあります。

町長の任期は1年を切っていますが、給食費の無償化は町長が変わっても続けるのか聞きます。

〈町長〉 給食費の無償化は、子育て世代の負担を軽減するためにも続けます。

3年、5年で終わるのでは意味がありません。今の子供が成人するぐらいまで、財政計画を維持できれば、続けられると思います。若い世代のI・Uターン者の所得減少の補助にもなります。学校給食は、食育という考え方も有り、単なる

食事という事ではなしに、教育の一部であります。

そういった教育の助成も必要だと考えています。

給食費を無料にして、メニューを悪くするような考えは全くありません。

教育環境、子育て支援が他町より優れていて、住みよい町と言われるような施策を今後も検討していきます。

【問】 小学校の遊具が少ないので、児童がグラウンドに出て遊ばない、児童の体力も落ち風邪をひきやすい体質になっているのではないかと声を聞きます。給食費を半額補助にし、半額を遊具に回して欲しいという声もあります。

〈町長〉 遊具については現場の声を聞き、教育委員会と検討します。



正国公園の遊具



河村 隆行

米のブランド化と六日市ICの利用について

【問】 お米の販売を増やすには、各種方法があると思いますが、食味値などの基準を設けるとか、水のセット販売などの考えは。

〈町長〉 一定の食味値を基準とすることでブランド化し、町内のグループをまとめるなど、柔軟な対応が必要だと思います。

【問】 耕作放棄地が増えてきています。稲作がもたらしてくれたものとして、お祭り、行事などの文化と、この自然があります。自給農家を守るために、地元企業に協力してもらい、働きやすくすることが、農地を守ることになるのでしょうか。

〈町長〉 勤めながら農業を行い、収支のバランスがとれていけるようなことを進めて行く必要があると思います。

【問】 六日市ICを途中下車して、路外の道の

駅を利用して料金が高くなる新制度が導入されるそうですが。

〈町長〉 先人に誘致して頂いたICであり、有効に活用しこの町の活性化に、つながるよう努力していきたいと思っています。

【問】 当町は六日市ICもあり、陰陽の中間地点でもあります。災害も少なく、災害時の備蓄基地の誘致を考えてはいかがでしょうか。

〈町長〉 六日市ICが救援物資を運んだり、備蓄するには非常にいい地形だと思います。対処していきたいと思っています。





三浦 浩明

防災士育成の強化、介護福祉の解決策

【問】 防災士研修講座が、10月に柿木ふれあいセンターで行われ、当町も受講料助成を試み30名の町民の方が受講されましたが、どんな職種の方が受講されましたか。

〈町長〉 自治会役員、自主防災役員、消防団の方々が受講されました。

【問】 今後も今回のような防災士養成講座を設けますか。

〈町長〉 町内で今後、またというのは難しい部分もあるかと思いますが、山口県・島根県等で開催される場合、状況を見ながら検討し、今後も引き続き島根県、益田圏域といった枠組みで合同による防災士養成研修会が開催できるよう関係機関に働きかけていきます。

【問】 今回の養成講座を機に「防災協議会」、「防災士の会」といったような組織を構成される

方向で指導・助言はできませんか。

〈町長〉 吉賀町防災士連絡会を結成し、定期的な学習会の開催や災害被災地へのボランティア、住民に対する防災知識の普及啓発等を予定しながら、組織に対する必要な経費を提供し対処します。

【問】 今後、高齢者福祉対策における様々な問題が数十年続くと予想されますが、当町の現状の施設やサービスだけで対応できるのか、また、独自の対策を思案していますか。

〈町長〉 当町においては、後期高齢者人口の増加はピークを過ぎているという認識です。

平成27年度からの地域支え合い会議等において、有効な生活支援サービスを実施していきたいと思えます。

施設やサービスにおいては、定員や内容を検討していく必要があると思えますので、地域のニーズに沿った施設介護サービスの提供を行っていきます。

最近の主な議会動向

月日	用務	出席者
9月20日	吉賀町農政会議通常総会	議長
9月20日～29日	決算審査特別委員会	決算特別委員・議長
9月26日	吉賀高等学校後援会	議長
9月27日	現地視察【黒髪島】（周南市）	議員
9月29日	第11回全員協議会	議員
10月6日	経済常任委員会	経済委員・議長
10月7日	第12回全員協議会	議員
10月7日～17日	議会広報特別委員会	広報委員・議長
10月11日	島根県町村議会議長会全議員研修会（松江市）	議員
10月19日	経済常任委員会現地調査	経済委員
10月24日	鹿足郡一部事務組合議会定例会（吉賀町・津和野町）	組合議員
10月25日	総務常任委員会（民生児童委員との意見交換）	総務委員・議長
10月31日	益田地区広域市町村圏事務組合議会定例会（益田市）	組合議員
11月4日	第13回全員協議会	議員
11月4日	第5回臨時会	議員
11月7日～10日	町村議会議長全国大会ほか（東京都）	議長
11月14日	鹿足郡町村議会議長会全議員研修会（津和野町）	議員
11月15日	日本共産党京都府議会議員団視察受け入れ	議長
11月17日	島根県町村議会議長会正副議長、委員長研修会（松江市）	正副議長・委員長
11月21日	経済常任委員会（農業委員との意見交換）	経済委員・議長

11月24日	第14回全員協議会	議員
11月25日	吉賀町除雪会議	正副経済委員長
11月26日	東京吉賀会総会（東京都）	副議長
12月2日	議会運営委員会	議運委員・議長
12月9日～16日	第4回定例会	議員
12月18日	山陰道浜田・三隅道路開通式（浜田市）	議長
12月20日	総務常任委員会《障がい者施設視察》（山口市・宇部市）	総務委員・議長

委員会活動

【総務常任委員会視察について】

- ・日 時：平成28年12月20日（火）
- ・視察先：社会福祉センターしらさぎ会館
（山口県山口市）
社会福祉法人光栄会
（山口県宇部市）
- ・目 的：障がい者福祉施設の設置と運営について

この度の視察は、平成28年4月26日に引き続き、2回目となります。この視察の目的は、吉賀町地域活動支援センターの老朽化等に伴い、吉賀町障がい者施設整備基本計画における「みんなが自立し、その人らしく生き生きと、安心して快適に共に暮らせるまちをめざして」の基本理念の実現と将来的安定運営につながる施設の新設についての調査を行ったものです。

この視察は、町保健福祉課の担当職員も同行して行いました。



しらさぎ会館で説明を受ける

【経常常任委員会現地調査について】

- ・日 時：平成28年10月19日（水）
- ・場 所：吉賀町内の道路、河川
- ・目 的：町内の危険箇所調査について

当町では、ここ数年大規模な災害が発生していないが、河川には立木が大きくなり、土砂の堆積が多く見られます。このことは豪雨等による大災害も予想されるところです。

委員会では、現状における危険箇所について、住民の方の情報等をもとに、県管理の8か所、町管理の6か所について調査を行いました。

現地調査は、引き続き行う予定ですので、皆様からの情報をお寄せ下さい。



立河内地内での現地調査

編集後記

新年を迎え、住民の皆様方におかれましては新たな気持ちでお過ごしのことと存じます。

広報委員会としても、皆様に議会情報を的確にお伝えすべく心新たに活動していく所存ですので本年もよろしくお祈いします。

議長の挨拶にもありましたように、本年は町長・議員の改選があります。

若い世代の方や女性の方の参画が町政に必要なことは言うまでもありません。

議会としても、皆様が取り組みやすいように、議会改革を行うよう、努力していきたいと思ひます。

毎回のようにお願いをしていますが、議会だよりに限らず行政・議会についてもご意見ご要望をお寄せください。お祈いします。

（桑原 三平）